

大阪市では、大阪府とともに平成24年12月に策定した「大阪都市魅力創造戦略」のなかで、大阪城公園を重点エリアのひとつに位置付け、新たな魅力を備えた世界的な歴史観光の拠点として整備を推進することとしております。

「民が主役、行政はサポート役」との基本的な考えのもと、民間事業者の柔軟かつ優れたアイデアや活力を導入し、世界的な観光拠点に相応しいサービスの提供や新たな魅力の創出を図るため、民主体のPMO(Park Management Organization)事業者が総合的かつ戦略的に公園及び公園施設を指定管理者として一体管理する「パークマネジメント事業」を平成27年度より導入する予定です。

PMO事業導入に向けた事前事業提案募集

今回の事前事業提案募集は、今後予定しているPMO事業者の募集に先駆けて、関係法令に沿って設置可能な施設及び実施可能な事業を把握するために関係省庁との事前協議を行うことと、民間事業者のPMO事業への参画意向や事業ニーズを把握することを目的として実施します。

今後のスケジュール(予定)

応募書類の提出	平成25年10月16日～10月17日
提案内容の確認・協議	平成25年10月～平成26年2月末
PMO事業者募集・選定	平成26年5月～12月頃
PMO事業開始	平成27年4月

PMO事前事業提案 施設、エリア等



豊臣石垣公開事業

太閤秀吉により天下統一の拠点として築城された豊臣期大坂城は大坂夏の陣(1615年)で落城しましたが、徳川幕府は豊臣期大坂城を覆い隠すように徳川期の大坂城を築き、豊臣期の大坂城は地下に眠ったままです。

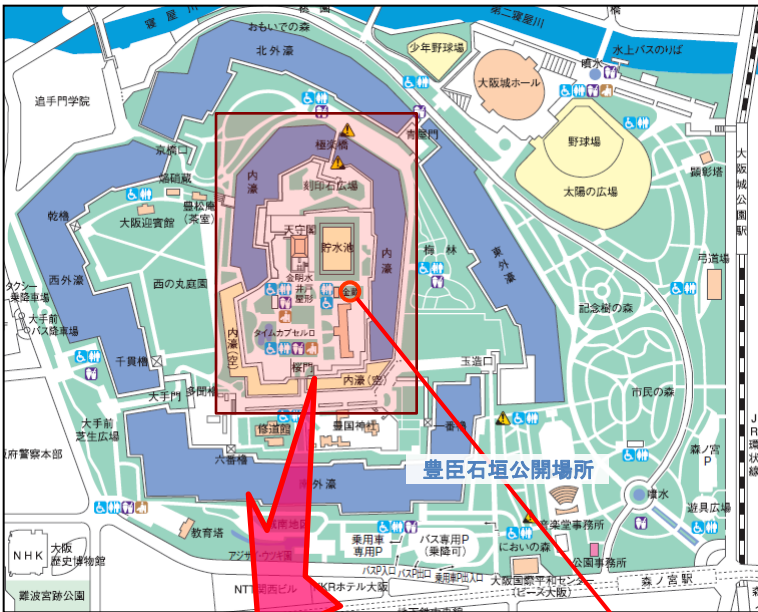
昭和34年に「大阪城総合学術調査団」を組織し、大阪城の謎の解明を進めた結果、地下約9mに現在の大坂城に石垣とは違う、豊臣期の石垣が初めて確認されました。

昭和59年には、水道工事に関連して地下1.1mの位置に、石垣下端の高さが昭和34年に発見された石垣の天端と同じ豊臣期の石垣が本丸内地下に良好な状態で残存することが確認されました。しかし、世紀の大発見であったこれらの石垣は調査が終わると、再び埋め戻され、現在の大坂城では豊臣期の石垣を見ることはできません。

そこで、大坂夏の陣から400年の節目を迎えるにあたり、豊臣秀吉が築いた初代大坂城の石垣を再び掘り起し、大阪城の持つ、新たな歴史文化の魅力を皆様と共有したいと考えています。

【今後のスケジュール】

平成24年度に現地の試掘調査を経て、平成25年7月より石垣周辺の本格的な遺構調査を開始しています。今後、遺構調査の結果を踏まえ、城郭の適正な保存と活用の検討を重ね、大坂夏の陣から400年にあたる平成27年度の公開を目指し、展示手法や施設計画などの検討していきます。



太閤なにわの夢募金

募金目標額 5億円
募金期間 平成25年4月1日～平成27年3月31日(予定)
募金の対象者 広く国内外の個人、法人、団体からの寄附を募ります
平成25年7月末現在 約4,000万円

【この秋に予定している主な事業及び連携事業】
9月17日～20日 全国城郭ポスター展(@市役所)
25日～10月1日 同上(@グランフロント)
9月23日 スロット関西バスまつり(@インテックス)
10月12日～13日 大阪ウォーク(@大阪城西ノ丸)
10月12日～14日 大阪城櫓一般公開
10月14日 歴史人セミナー(@国民会館)
10月27日 大阪マラソン
10月29日～ 大阪の至宝展(市立美術館)
11月23日 ラジオ大阪まつり(@太陽の広場)

